取扱説明書　保管用

蛍光灯ペンダント

（一般屋内専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品	名	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	使用電圧
上下配光	PF-2510　連結単部(電源供給あり)	FHF32W×1灯	15A	VVFケーブル φ1.6／2.0	AC100V～254V (±6%)
	PF-2511　連結単部(電源供給なし)				
	PF-2512　中間部				
下方配光	PF-2506　連結単部(電源供給あり)				
	PF-2507　連結単部(電源供給なし)				
	PF-2508　中間部				

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上・使用上の注意

⚠ 警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 電源の送り容量は最大15Ａです。必ず15Ａ以内で使用してください。
★最大容量を超えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

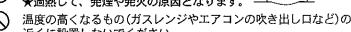
❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ **ボルト吊り専用**器具です。それ以外の取付け方はできません。
★器具の落下による、器具その他の破損やケガの原因となります。

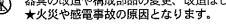
⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
○傾斜天井および天井面以外の場所。　○補強材の無い場所への取り付け。
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。　○凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による、器具その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ ＡＣ100～254Ｖ専用です。必ずＡＣ100～254Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度５℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火の原因となります。

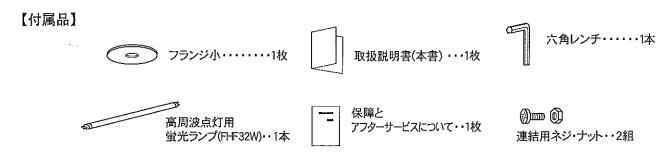
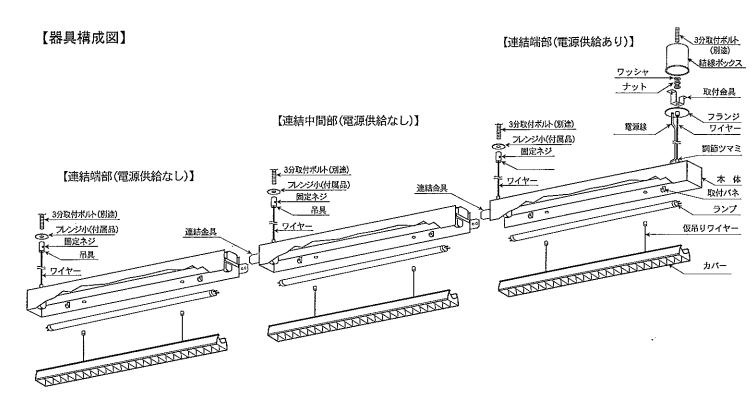
⃠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

各部の名称
(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

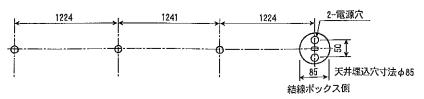
【付属品】

【器具構成図】

取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ 器具の取付は、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

1. 天井切込穴および取り付けボルト位置を確認してください。
2. 取付ボルトはレースウェイなどを使用して必ず垂直に降ろしてください。
3. ボルトの長さを調節してください。

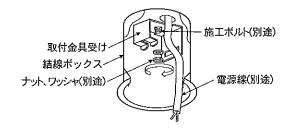
■取付ボルトピッチと天井切込穴寸法

取り付け方 ⚠注意 ❶ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 注意 ❶ 器具の取付は、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に　ナットをゆるめフランジをはずし結線ボックスの取付金具内の固定ネジBをゆるめて、取付金具をはずします。(図3-1)

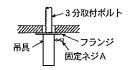
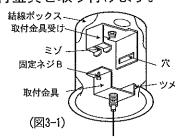
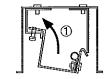
●「連結端部(電源線有り)」、「連結中間部」、「連結端部(電源線なし)」の順で取り付けます。

1. 結線ボックスを取り付けます。

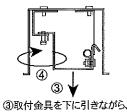
①電源穴より電線を引き込んでください。
②結線ボックスを3分取付ボルト(別途)に通し、
　Wナット、ワッシャーで確実に締めこんでください。

2. 吊具を固定します。

①3分ボルト(別途)にフランジを小を入れてから吊具を通します。
②固定ネジAを付属の六角レンチを使用し確実に固定します。

3. 取付金具を取り付けます。

(図3-1)

①取付金具受けのミゾに沿って取付金具の固定ネジBを引っ掛ける。

②取付金具のツメを穴に押し込んで引っ掛けます。

③取付金具を下に引きながら、④固定ネジBを確実に締め付けます。

4. ワイヤーとコードの長さを調節します。

a)ワイヤーを短くする場合。
①調節ツマミを緩めます。
②ワイヤーを器具内に押し込めます。
③調節が終わったら調節ツマミを最後まで締め込みます。
　余ったワイヤーは本体に収めてください。
④余った電源線はフレンジ内に収めてください。

a)ワイヤーを短くする場合。
緩める　調節ツマミ　ワイヤー　ワイヤーを押し込む

b)ワイヤーを長くする場合。
①少し余裕をもたせて電源線をフランジから引き出します。
②調節ツマミを緩めます。
③調節ツマミを押し下げて、ワイヤーを引き出します。
④調節が終わったら調節ツマミを最後まで締め付けます。

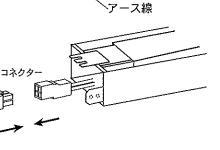
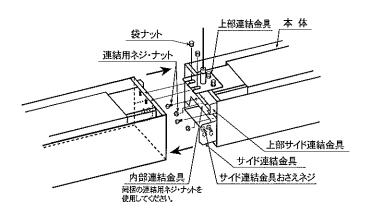
b)ワイヤーを長くする場合。
緩める　調節ツマミ　ワイヤー　調節ツマミを押し下げて　ワイヤーを引き出す

⚠ 注意 ❶ 器具が水平になるように調整してください。
★落下の原因になります。

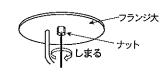
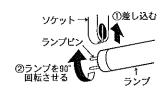
5. 電源線を接続します。

電源線の被覆をむいて、口出し線と接続してください。
その際、D種(第3種)接地工事を行ってください。
★不良の場合、感電・漏電の原因となります。

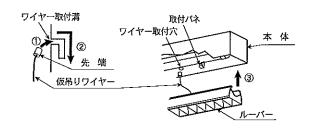
口出線　電源線　アース線

■器具間の接続にはコネクターを使います。
セット後、器具内に収納してください。

6．連結します。　　「連結端部(電源線有り)」、「連結中間部」、「連結端部(電源線なし)」の順で取り付けます。

※連結数が少ない場合(２連結～３連結)は、あらかじめ下場で連結した状態にしてから天井に取付けると楽に行えます。
全ての連結金具は、一度に本締めせず、徐々に均等に締め上げてください。
※同梱のネジ・ナットを使用してください。

連結の手順
ワイヤーの長さを調整し、水平レベルを保った後、電源を接続した後に連結を行います。
1．サイド連結金具、上部連結金具同士を差し込み、仮止めします。
2．内部連結金具を仮止めします。
3．上部連結金具を固定してから、連結金具を均等に締め上げ固定します。
4．上部サイド連結金具をスライドさせ固定します。

7．フランジをセットします。
フランジ大を押し上げてナットで固定します。

8．ランプをセットします。
ランプのピンをソケットの溝に
まっすぐ差し込み、90°回します。

⚠ 注意 ❗ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

9．ルーバーを取り付けます。
①ルーバーの仮吊りワイヤーの先端をワイヤー取付溝に引っ掛け、ワイヤーを通します。（2ケ所）
②ワイヤー取付溝に沿って下まで移動させます。
③本体の取付けバネにあわせルーバーをセットします。

⚠ 注意 ❗ ルーバーを確実に取り付けてください。
★ルーバーの落下の原因になります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう、暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

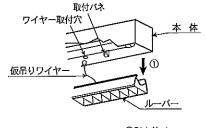
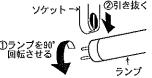
●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、
またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

●ランプは乱暴に扱わないでください。　★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良(チラつきや立ち消えなど)の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

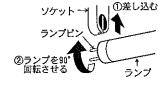
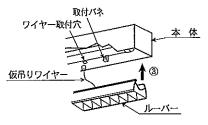
◆ランプの交換

1. スイッチを切ります。

2. ルーバーをはずします
ルーバーを下に引き下げます。

3. ランプを交換します。
①ランプを90度回し、
②ソケットからランプを引き抜きます。

4. ランプをセットします。
『取り付け方』の「7.ランプをセットします。」の項をご参照ください。

5. ルーバーを取り付けます。
本体の取付けバネにあわせルーバーをセットします。

⚠注意　ルーバーを確実に取り付けてください。
★ルーバーの落下の原因になります。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

✕　ミガキ粉　シンナー

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。